

和泉なおみ都議と和泉事務所中小企業チームは、ひきつづき東京東部のものづくり中小企業の実情調査活動をつづけています。
五月一七日には荒川区の、五月二五日には葛飾区のそれぞれの中小企業対策担当と懇談を行いました。



工場数が四分の一に激減 葛飾ブランド認定・見本市開催などに とりくむ

葛飾区との懇談は区側から三山商工振興課長・橋本産業経済課長・中島観光課長と三人の課長が出席して行われました。
葛飾区は中小企業のま

ちです。
工場数は二三区中、太田、墨田につづいて第三位。一事業所あたりの従業員が少ない小規模工場が多いのが特徴で、日用品、生活雑貨などを中心とする工業集積地域です。

しかし、一九七九年に一五三工場あった区内の町工場は二〇一六年には二一三一工場とじつに四分の一に激減しています。

荒川区には九年前に訪問した時に話を伺った「MACC（マックプロジェクト）」がその後どうなったのかを聞くことが、今回の訪問の目的でした。
「MACC」とは「ものづくり荒川シテイクラスター」の頭文字で、区内全体を牽引するものづくり集団をつくっていくために、区が四人の専門家を直接雇用し支援策を探索する過程をストーリーマンガにして紹介するということがメインで、そのほか最新号ではサッカー南葛SCのメンバーが工場見学をする企画もあり、なかなか工夫されています。

また葛飾区は二〇一五年から毎年有楽町の国際フォーラムで「葛飾区町工場見本市」を開催しており、二〇二二年からは四半期ごとの景況調査を実施しています。ただ、こうした取り組みが区政の重要な戦略として位置づけられていない気がします。



区が専門家を直接雇用して 支援策を探索

葛飾区はこうした事態をうけて、区内の工場に開発された製品や技術を「葛飾ブランド」と認定して毎年これを「町工場物語」という七〇ページほどの冊子にし、PRしています。

冊子は区内在住の漫画家が、工場を探访して、新製品・新技術の開発にいた

荒川区には九年前に訪問した時に話を伺った「MACC（マックプロジェクト）」がその後どうなったのかを聞くことが、今回の訪問の目的でした。

さらに生かすことや景況調査でつかんだ課題に正面からとりくむ対策が必要だと感じさせられました。

また葛飾区は二〇一五年から毎年有楽町の国際フォーラムで「葛飾区町工場見本市」を開催しており、二〇二二年からは四半期ごとの景況調査を実施しています。ただ、こうした取り組みが区政の重要な戦略として位置づけられていない気がします。

今回、訪問してみると現在も同じ体制を維持していること、当初五〇社ほどで出発した企業集団は一〇〇社にまで拡大していること、深刻な後継者難を克服するための若手起業家グループ「あすめしの会」（明日の飯は自分たちでつくる）は、独自に発展し、下町サミットを開催するようになってきていることなどがわかりました。

さらに商業支援として中小企業診断士二人を直接雇用し、商店街・個店への支援を行い、法律・税



務・人事労務・知財・IT関連などの特定分野ごとの専門家を年度内一〇回まで無料派遣する支援も実施していました。
工業・商業ともに専門家による支援体制を強化し中小企業に寄り添ったとりくみをしていることが教訓的でした。

都営住宅での 電気代補助など申し入れ

5月23日、日本共産党都



議団は、度重なる電気代の値上がりで、大きな影響を受けている都営住宅の自治会の負担軽減のために、共用部分（廊下や階段など）のLED化計画を前倒しして早急に実施することを申し入れました。また、公社住宅でもLED設置を進め、未設置の住宅は、共益費の負担軽減を公社に要請するよう、あわせて求めました。

さらに商業支援として中小企業診断士二人を直接雇用し、商店街・個店への支援を行い、法律・税

日本共産党 都議会議員
和泉なおみの
さわやかレポート
 NO. 81 2023. 6
和泉なおみ事務所 葛飾区東立石 3-25-8
 TEL 5671-0850 / FAX 5671-0851